

雪印が
お奨めする
育成選抜品種の解説

ライ麦(改良種)、ペトクーザ四倍体

(一) 育成の目的

早春の青刈飼料として、繁茂力旺盛な多収品種を選抜育成し、田畑の裏作に広く栽培され有効に利用されることを念願した。また、ライムギは他殖性作物で雑ばくな品種に陥りやすいので、特性維持に注意をはらっている。

(二) 育成経過

改良種は青刈収量の高いペトクーザ純系一八五をドイツより導入し、優良個体を選抜して改良を図り、年々不良個体の抜取り淘汰をくりかえして純系の維持を行なっている。

(三) 特性概要

ペトクーザ純系一八五(改良種)は多収型で再生力強く、茎は細く比較的柔かく葉の量も多い。

ペトクーザ四倍体は茎葉が巨大型で濃緑色を呈し、三〜四日晩生で葉重比もすぐれており、銹病、

ペトクーザ四倍体はアメリカから導入された倍數体品種であるが、改良種と同様に優良個体を選抜し、更に、多數の系統を造成し優良系統間の多系交配を行なおうとしている。

紅色雪腐病等に抵抗性を有している。

(四) 利用上の注意

(1) 裏作 ライムギは麦類のなかで耐寒性もつとも強く、水田、畑の裏作に用いられるが湿田は不可。耕起多肥栽培に適している。

(2) 刈取 生育の進むにしたがい茎の割合が多くなり且つ硬化してくる。(ペトクーザ四倍体は成熟期にいちじるしく硬化する)ので、早期に刈取り給与し、二番草を待つこと。東北地方南部以南では八月に播種すれば一〜二月に刈取りでき、翌春の収量に殆ど悪影響を及ぼさない。



写真左、在来種、右、四倍体(穂孕期)

ライムギ品種の特性概要表

備考	品名	試験地		新潟		農試(昭三六)		九州農試(昭三六)				
		在来	ペトクーザ純系一八五(改良種)	草丈	生葉数	長葉	幅葉重比	茎の直径	生草重	比乾物率	生草重	比
3 刈取 五月一七日	ペトクーザ四倍体 (北海道)	九	六	一〇七	四七	一〇七	一八四	四二	二五〇	一〇六	一六三	二四四
		九	六	一〇七	四七	一〇七	一八四	四二	二五〇	一〇六	一六三	二四四
2 播種 一〇月一日	ペトクーザ純系一八五(改良種)	九	六	一〇七	四七	一〇七	一八四	四二	二五〇	一〇六	一六三	二四四
		九	六	一〇七	四七	一〇七	一八四	四二	二五〇	一〇六	一六三	二四四
1 播種 一〇月一日	在来	九	六	一〇七	四七	一〇七	一八四	四二	二五〇	一〇六	一六三	二四四
		九	六	一〇七	四七	一〇七	一八四	四二	二五〇	一〇六	一六三	二四四



写真 ペトクーザ純系一八五(改良種)の生育状況(穂孕期)